

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公開番号】特開 2004-217869 (P2004-217869A)  
 【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-030  
 【出願番号】特願 2003-9767 (P2003-9767)  
 【国際特許分類】

**C 0 8 G 59/40 (2006.01)**

【F I】  
 C 0 8 G 59/40

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 12 月 5 日 (2005.12.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (A) と、エポキシ樹脂硬化剤 (B) と、硬化促進剤 (C) とを含有するエポキシ樹脂組成物において、

前記エポキシ樹脂硬化剤 (B) は、1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (b 1) と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物 (b 2) とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物であり、前記エステル化合物 (b 2) 中のエステル結合 1 モルに対して、前記エポキシ樹脂 (b 1) 中のエポキシ基が 0.1 ~ 0.7 モルとなる割合で反応させたものであることを特徴とするエポキシ樹脂組成物。

【請求項 2】 前記エポキシ樹脂 (A) のエポキシ基と、前記エポキシ樹脂硬化剤 (B) のエポキシ変性エステル化合物に由来するエステル結合とのモル比が 1 : 0.5 ~ 1 : 3 である請求項 1 に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 3】 1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (A) を硬化させるためのエポキシ樹脂硬化剤であって、

1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (b 1) と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物 (b 2) とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物を主成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂硬化剤。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 1】

すなわち、本発明は、1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (A) と、エポキシ樹脂硬化剤 (B) と、硬化促進剤 (C) とを含有するエポキシ樹脂組成物において、前記エポキシ樹脂硬化剤 (B) は、1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂 (b 1) と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物 (b 2) とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物で

あり、前記エステル化合物（b 2）中のエステル結合 1 モルに対して、前記エポキシ樹脂（b 1）中のエポキシ基が 0.1 ~ 0.7 モルとなる割合で反応させたものであることを特徴とするエポキシ樹脂組成物を提供するものである。

また、本発明は、1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂（A）を硬化させるためのエポキシ樹脂硬化剤であって、1 分子中に 2 個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂（b 1）と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物（b 2）とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物を主成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂硬化剤を提供するものである。